

ウミガメ類の産卵場創出について

令和2年5月

沖縄防衛局

(1) 辺野古弾薬庫下の整備について

第22回委員会（令和元年11月12日）で決定した砂浜の整備方針のとおり、辺野古弾薬庫下において、令和2年3月5日～17日でモクマオウの伐採・除根及びグンバイヒルガオの植栽を行った。

整備の概要は以下のとおり。

◆ モクマオウの伐採・除根

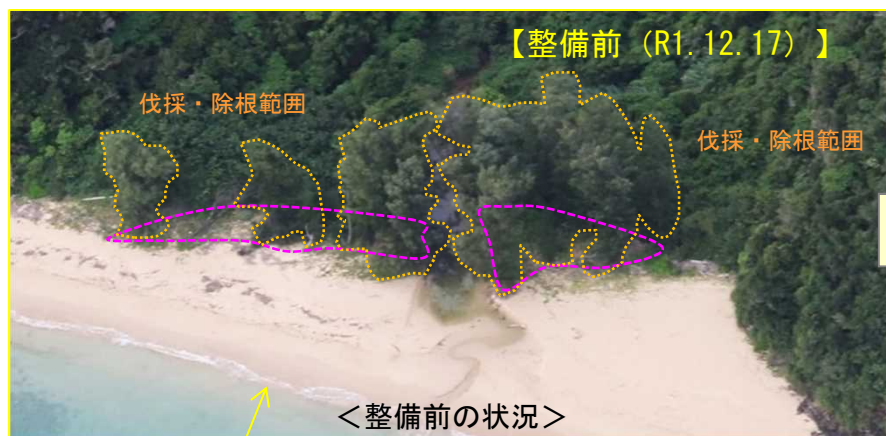
モクマオウ43本を伐採し、うち26本は除根を実施、17本は水路の安定又は周辺植生の保全のため、萌芽防止対策として幹の切断面に切込みを入れた上で幹の一部と根を残した。詳細は次頁以降。

◆ グンバイヒルガオの植栽

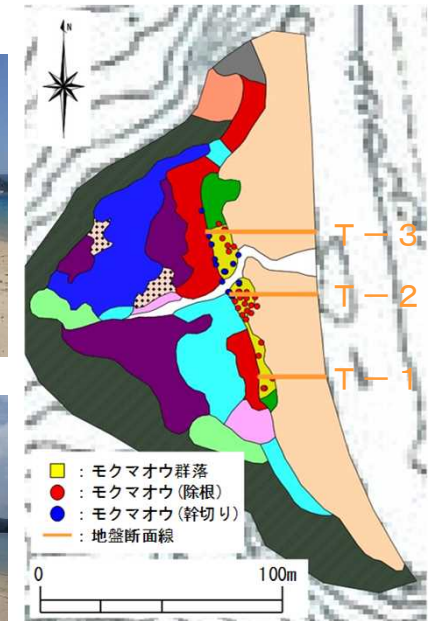
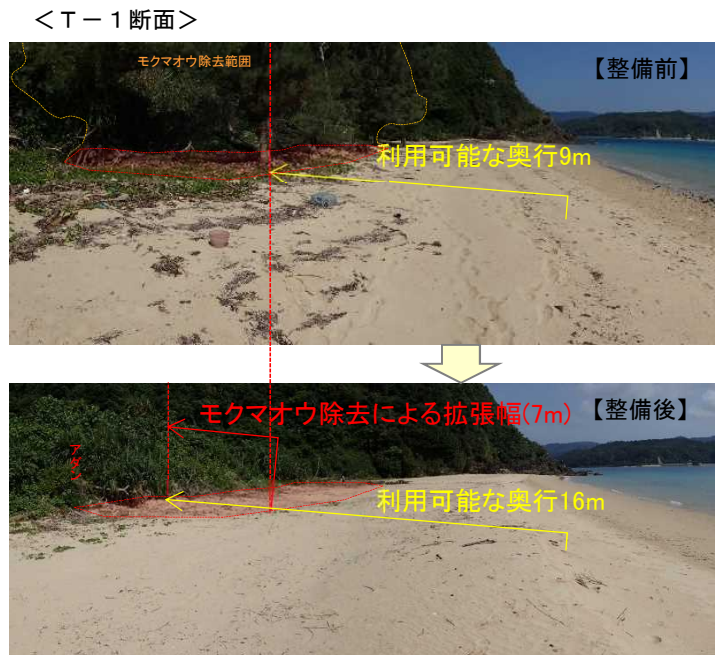
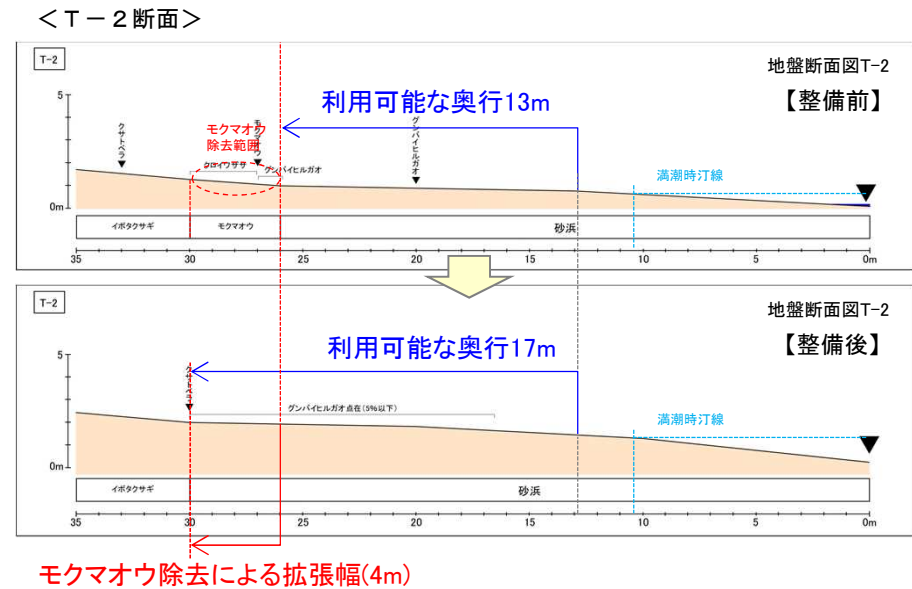
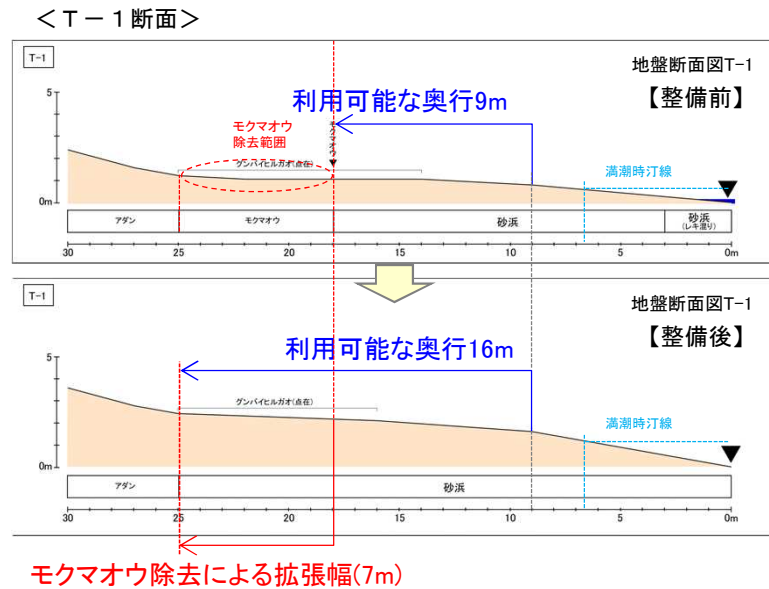
除根・埋め戻しを行った箇所について、攪乱環境に強い好適な産卵場とする目的で、グンバイヒルガオを植え付けた。

◆ 整備後の対応

整備後、4月から上陸状況の調査を実施しており、4月の調査では辺野古弾薬庫下の砂浜において上陸・産卵は確認されていないが、今後、ボディピットが確認された場合は、仔ガメの降海まで、保護柵の設置や暗視カメラによる確認を実施予定。



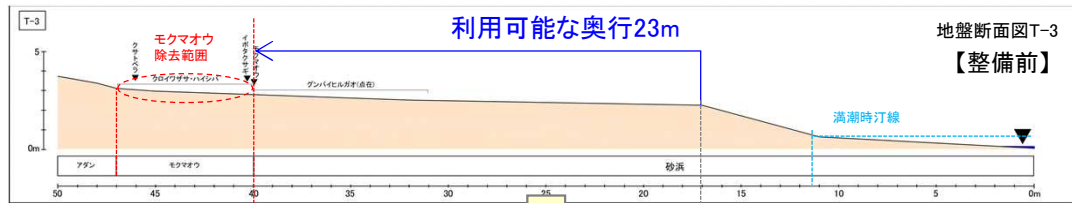
【モクマオウの伐採・除根：地盤断面T-1及びT-2の状況】



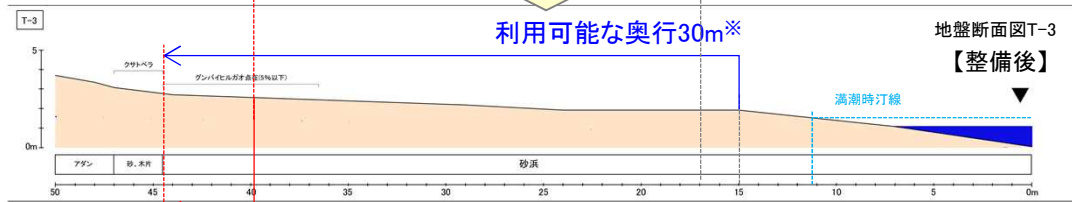
< 地盤断面線の位置 >

【モクマオウの伐採・除根：地盤断面T-3の状況】

< T-3 断面 >



地盤断面図T-3
【整備前】



地盤断面図T-3
【整備後】

モクマオウ除去による拡張幅(5m)

※汀段端が沖側に2m移動したため、利用可能な奥行は全体として7m増加

< T-3 断面 >

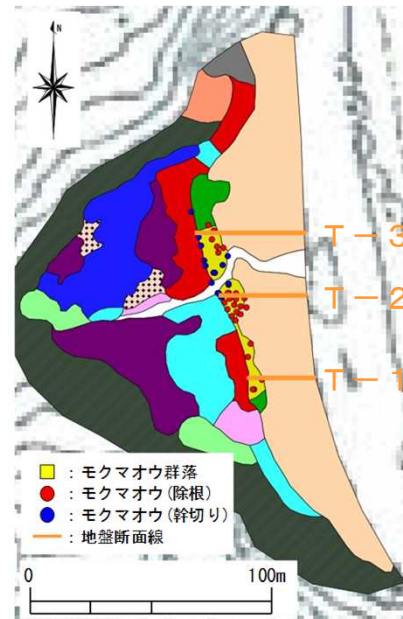


【整備前】



【整備後】

※汀段端が沖側に2m移動したため、利用可能な奥行は全体として7m増加



< 地盤断面線の位置 >

【グンバイヒルガオの植栽】



< 自生するグンバイヒルガオの生育状況 >



< グンバイヒルガオ植え付け株 >



< グンバイヒルガオ植え付け直後の状況 >